WOODONE
株式会社ウッドワン
〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1
[商品相談窓口]
0120-813-331
[受付時間]平日8:30～17:00
[休日]土日･祝日･GW･年末年始･夏期休暇

施工業者様用

〈施工説明書〉

ジャストカット階段

側板階段

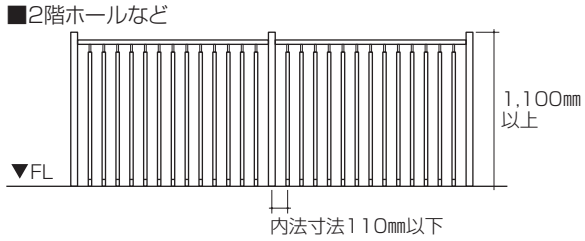
このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。
製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害･財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

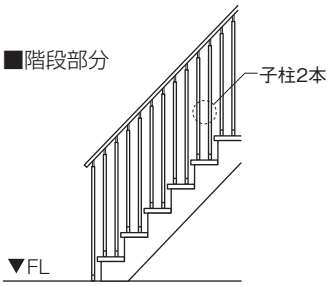
安全上のご注意　安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください

⚠ 注意　施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。

必ずおこなう

･躯体の強度を確保してください。
　階段が取り付く位置には、十分な強度のある柱･間柱･胴縁や梁･大引などの下地があることを確認してください。
･子柱は、子供がすり抜けないように踏板で使用する場合は2本、2階ホール等に使用する 場合は内法110㎜以下で取り付けてください。
･2階ホールの手すりの高さは1,100㎜以上としてください。





･指定の固定方法で取り付けてください。
･指定の下穴をあけてご使用ください。
･取り付け後にガタツキ、緩み、ビスの締め忘れがないか確認してください。
･万が一ガタツキ、ヒビなどの不具合を発見した場合は、直ちに使用をやめて取付業者または販売店にご連絡ください。

注意!

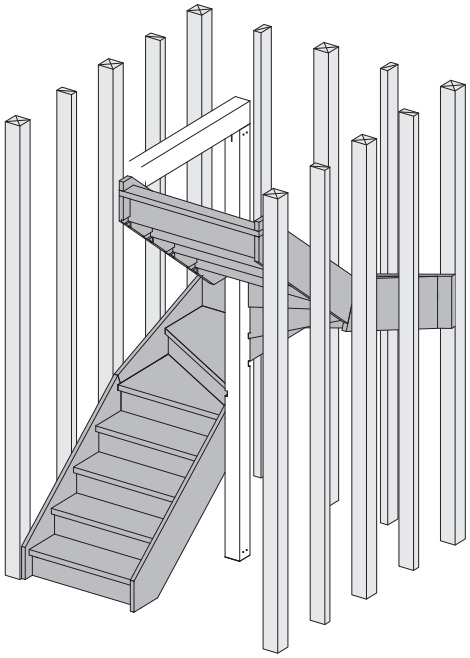
･屋外や、浴室などの湿度が高い場所にはご使用できません。
･開梱後は換気を行ってください。本製品は、ホルムアルデヒド･VOC（揮発性有機化合物）対策品ですが、新築･リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド･VOCが室内に滞留しやすいため、換気を行うようにしてください。
･階段の勾配が45°を超える場合は、手すりを両側に取り付けてください。
･手すりは踏面から750～800㎜の高さに取り付けてください。
･手すりは連続して取り付けてください。

お願い

･下穴はネジ径の80～85%を目安としてください。
･ポリウレタン系接着剤（別売）を少量充填しておくことも緩み止めに効果があります。
･手すりの接続、手すりと親柱･子柱との接続、手すり･親柱･子柱の躯体との接続は、ポリウレタン系接着剤を使用して強固に取り付けてください。

完成図イメージ

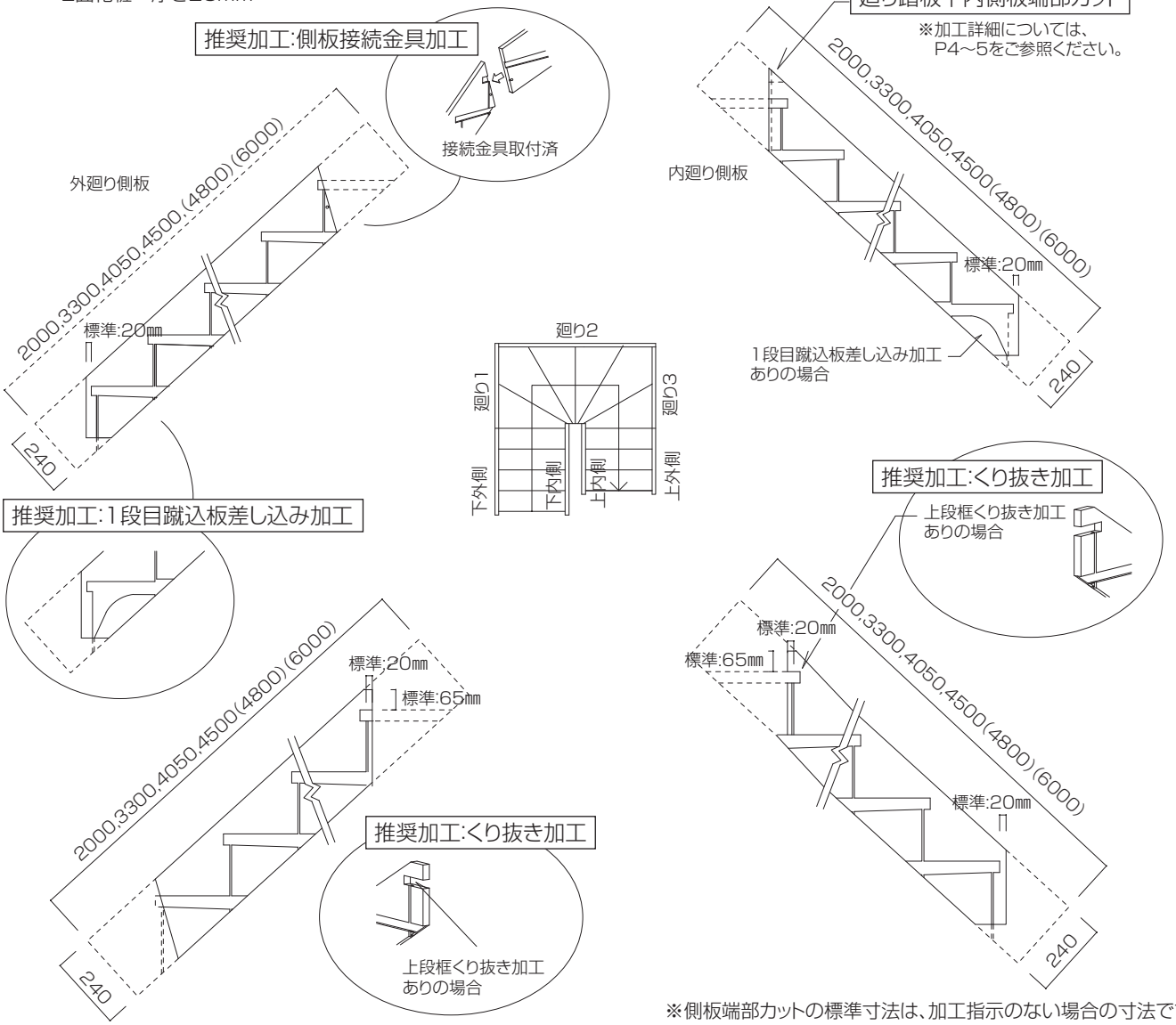
※中6段廻り上り切り14段
側枝柱面貼り
蹴込芯納め
センター柱梁勝ち納め



部材図

① 直側板（接続部加工,端部カット,木口仕上げ）

2面化粧　厚さ23mm

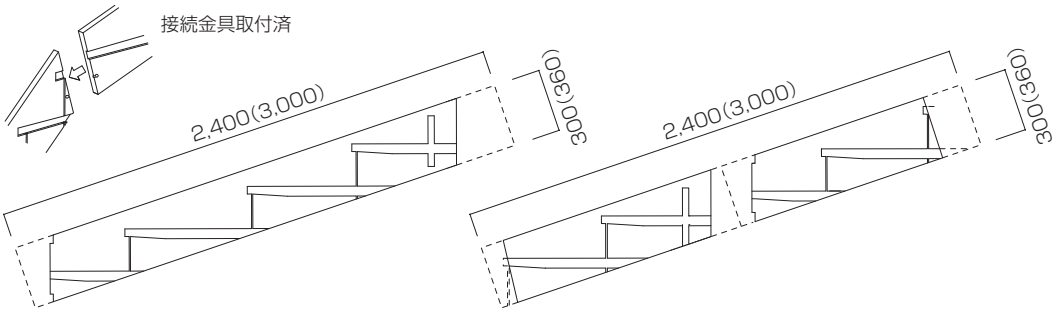


※側板端部カットの標準寸法は、加工指示のない場合の寸法です。

② 廻り側板（6段廻り）（接続部加工,端部カット,木口仕上げ）

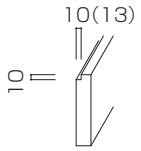
2面化粧　厚さ23mm

推奨加工:側板接続金具加工



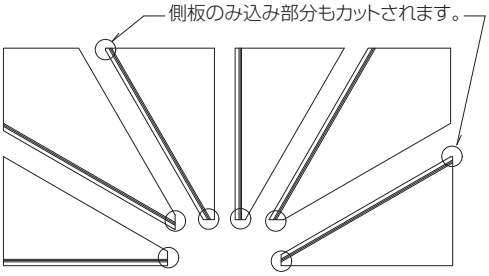
オプション加工:
ボードしゃくり加工

Aタイプ



③ 踏板（正寸カット）（2面化粧）厚さ36mm（30mm）

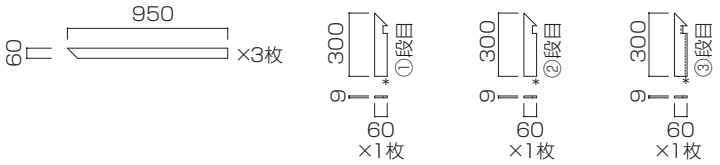
④ 廻り踏板（3段廻り）外周部正寸カット（2面化粧）厚さ36mm（30mm）



推奨加工:廻り踏板軸心カット

※廻り踏板軸心部は、センター柱の溝に合わせて、カットされます。

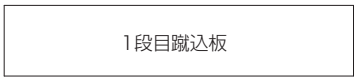
⑤ 巾木（2面化粧）厚さ 9mm　＊部分には踏板鼻の出寸法に合わせて加工されます



※蹴上げ方向、踏面方向とも現場カットが必要です。

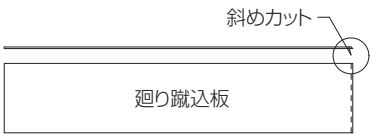
⑥ 蹴込板（1面化粧）厚:5.5mm（12mm）

推奨加工:1段目用高さカット



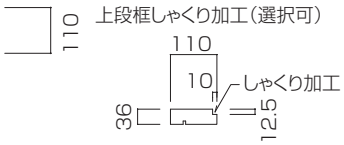
※1段目のみ踏板厚分低くカットされます。

推奨加工:廻り蹴込板長さカット



※2段目のみ内側に斜め加工をしております。
（形状により斜めカットにならない場合もございます。）

⑦ 上段框 正寸カット（2面化粧）厚さ36mm（30mm）

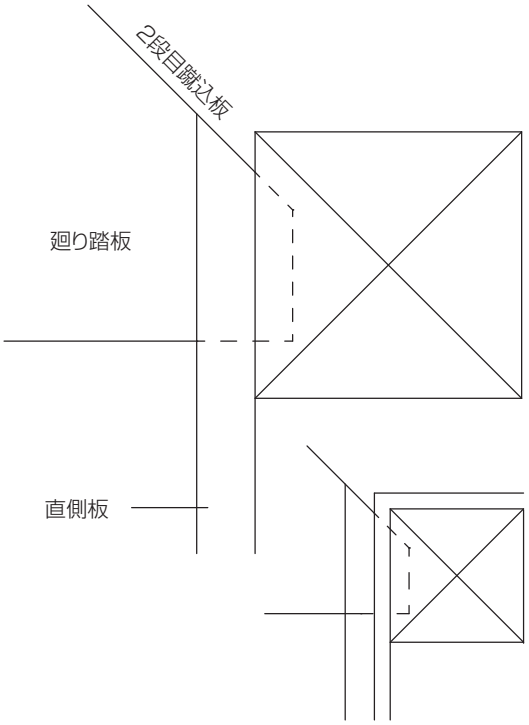


※納品された商品を開梱し、材料の樹種･色･加工内容などに相違がないかを確認してください。
踏面、蹴上げ寸法の確認後踏板や蹴込板の厚みを考慮して墨出しを行ってください。

推奨加工 廻り踏板下内側板端部カット

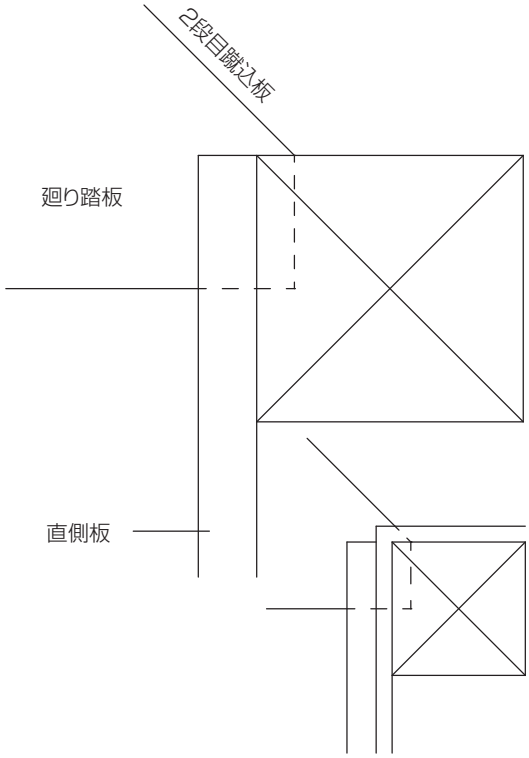
下の図のように直側板と廻り2段目の蹴込板との交差が柱のコーナーをまたいで、手前にくれば「斜めカット」となり、奥にいけば「柱面で垂直カット」となります。

斜めカットとなる場合



「ボードの上」から
側板が取り付く場合

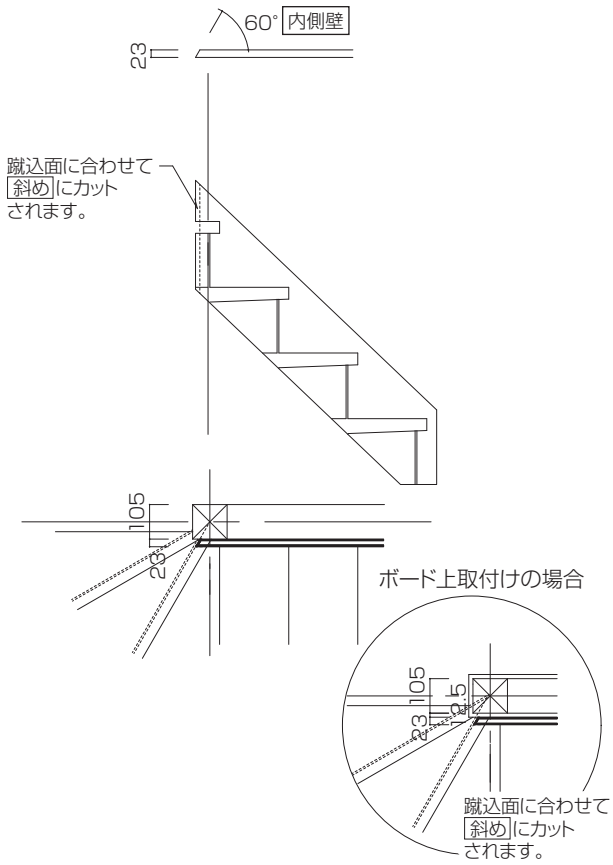
垂直カットとなる場合



「ボードの上」から
側板が取り付く場合

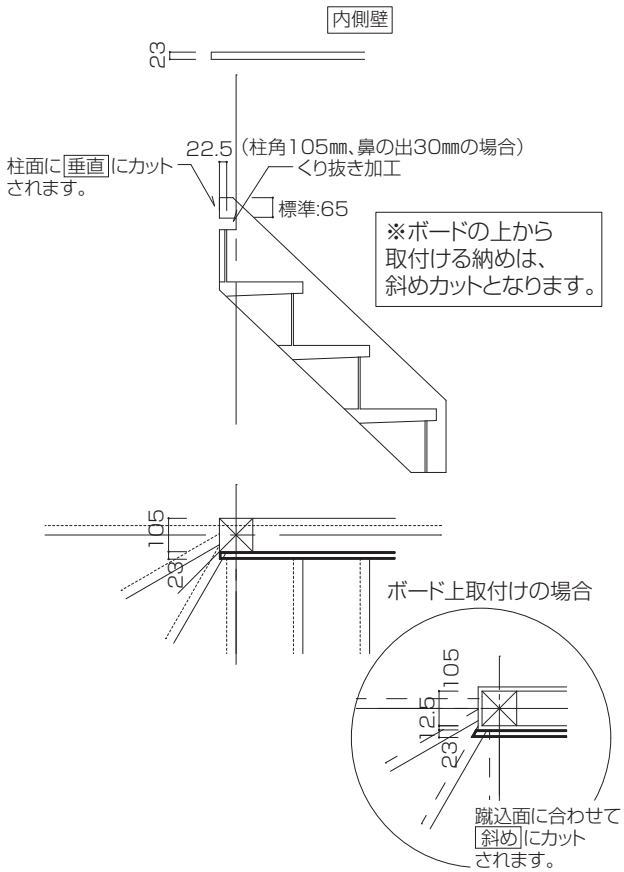
蹴込芯納め　直⇒3段廻り

蹴込み芯納め



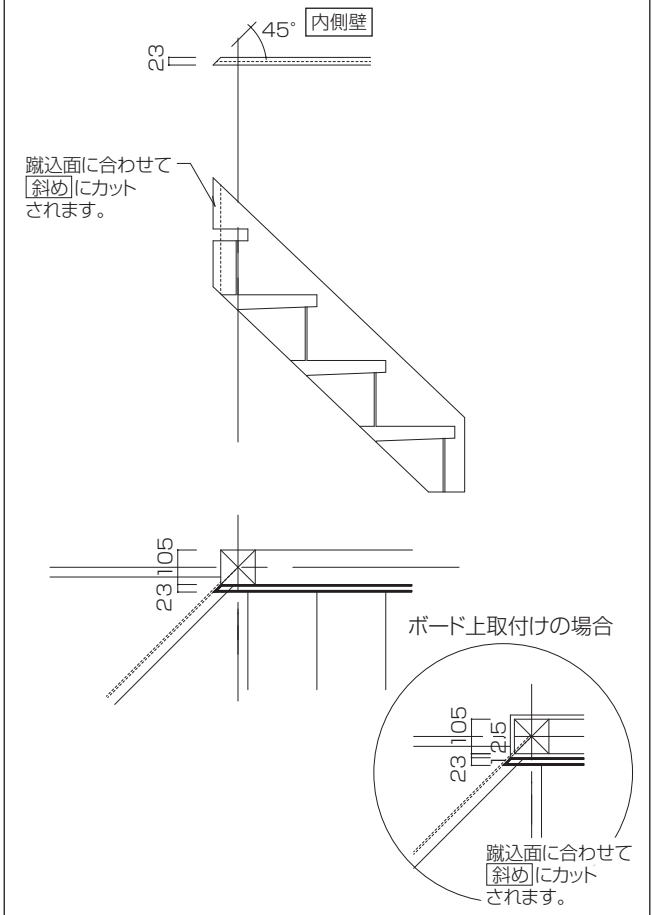
段鼻芯納め　直⇒3段廻り

段鼻芯納め

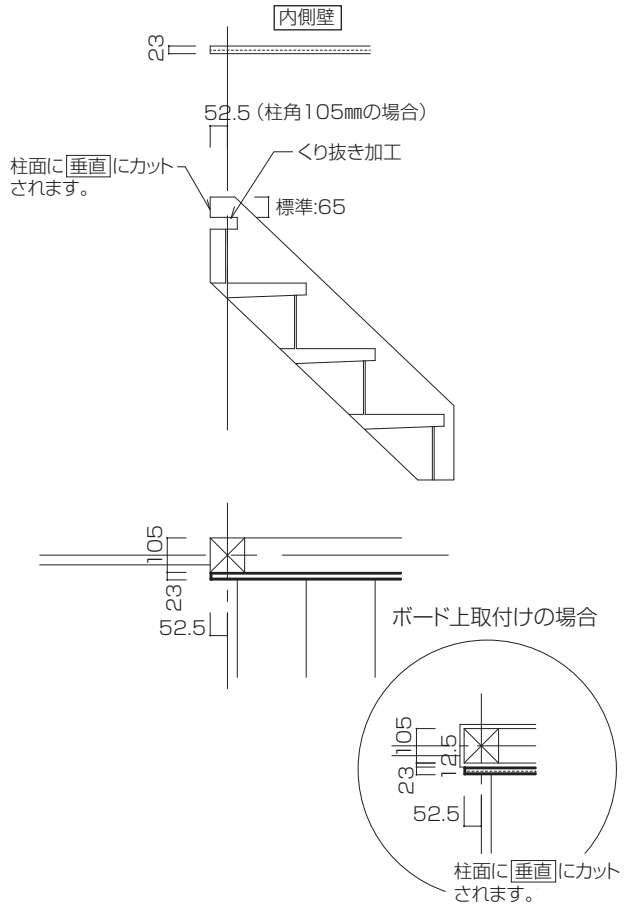


蹴込み芯納め

蹴込芯納め　直⇒2段廻り

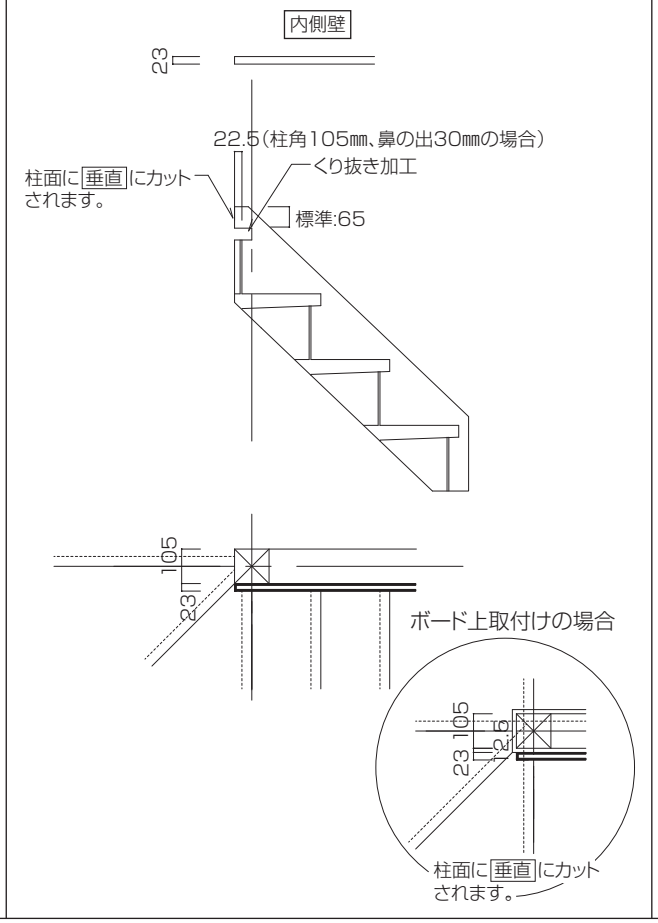


蹴込芯納め　直⇒踊場

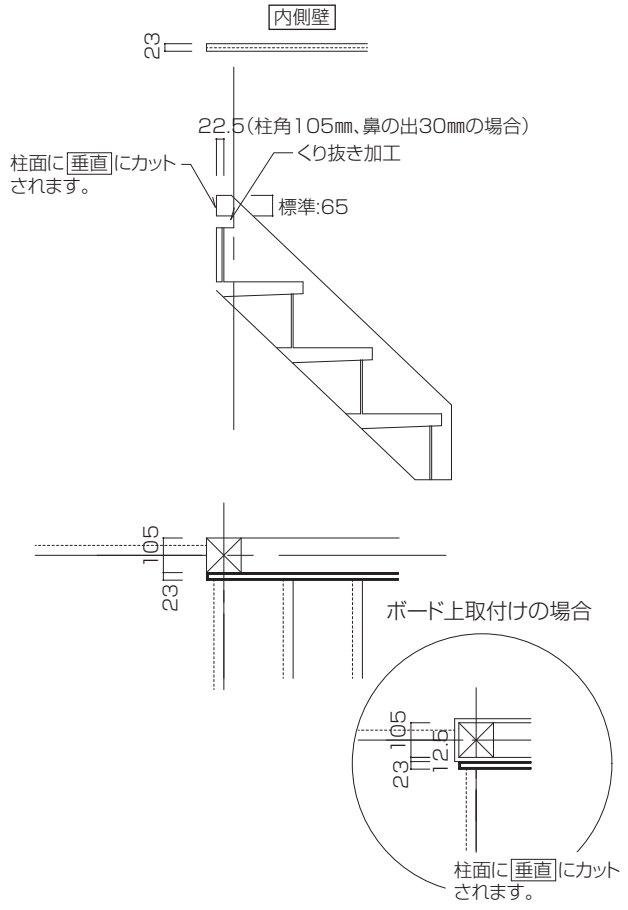


段鼻芯納め

段鼻芯納め　直⇒2段廻り

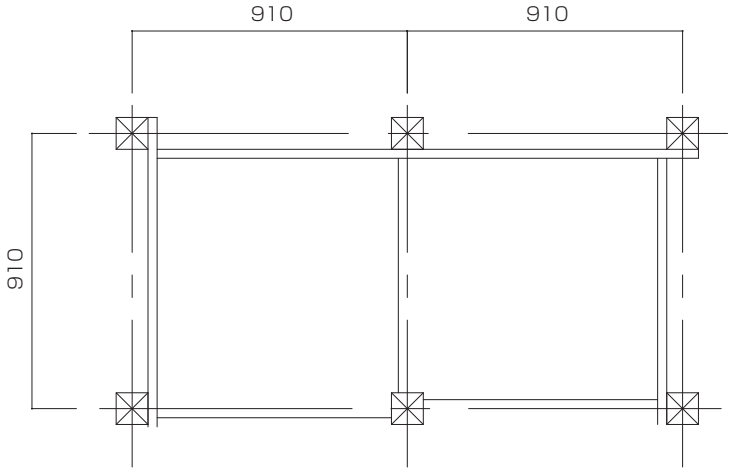


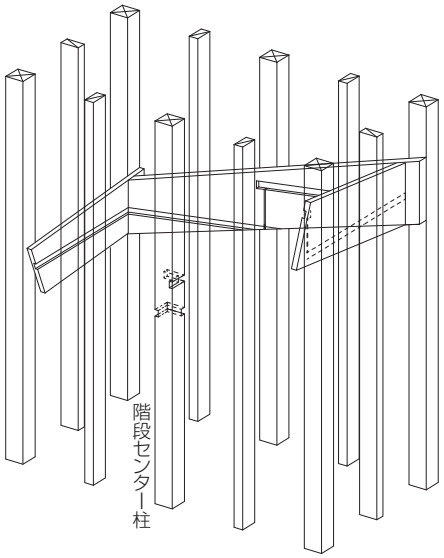
段鼻芯納め　直⇒踊場



廻り側板取り付けイメージ図

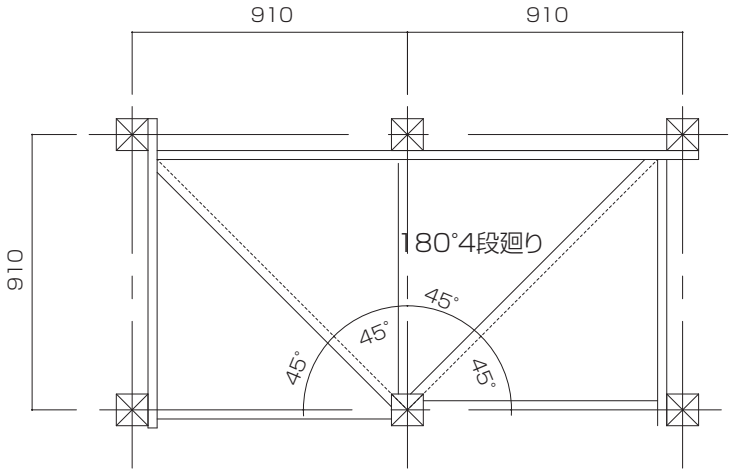
●踊り場（180度）用側板

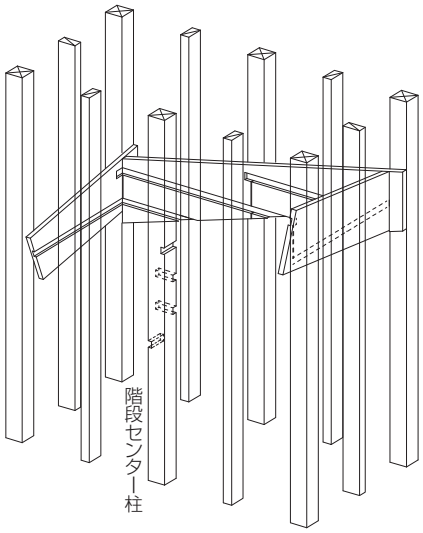




※図は、側板柱直貼り、蹴込芯納めで表示しております。

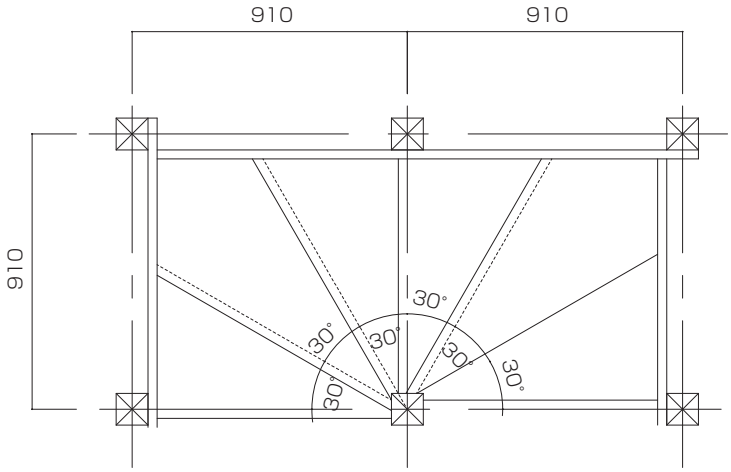
●2段（180度4段）廻り用側板

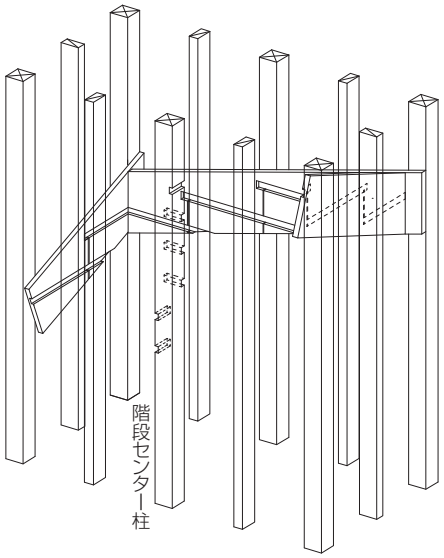




※図は、側板柱直貼り、蹴込芯納めで表示しております。

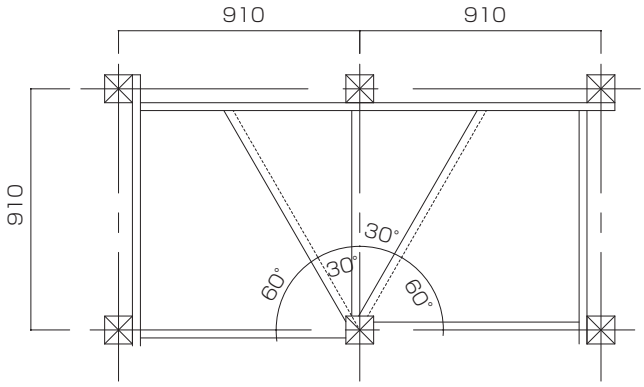
●3段（180度6段）廻り用側板

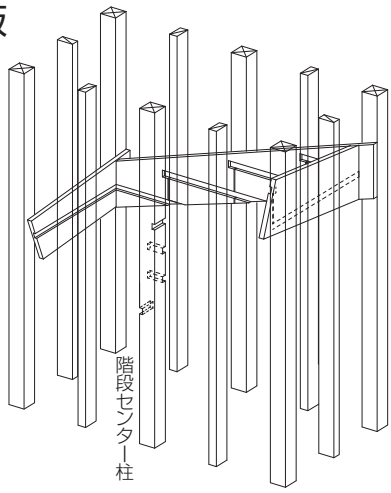




※図は蹴込芯納めで表示しております。

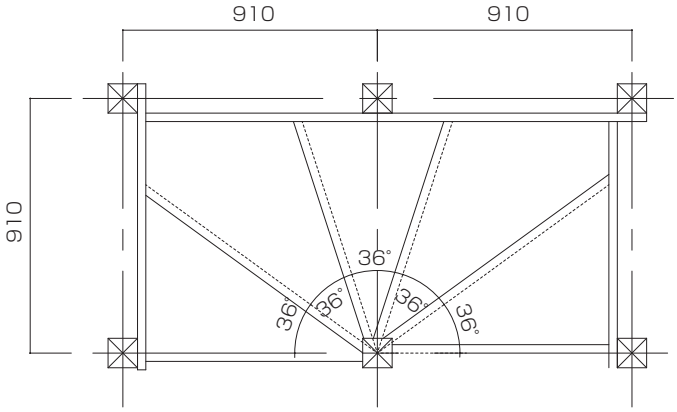
●バイアフリー（180度4段）廻り用側板

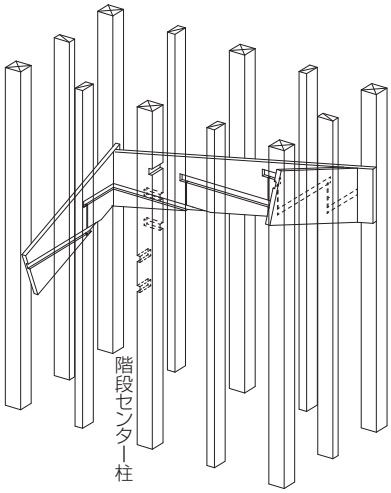




※図は蹴込芯納めで表示しております。

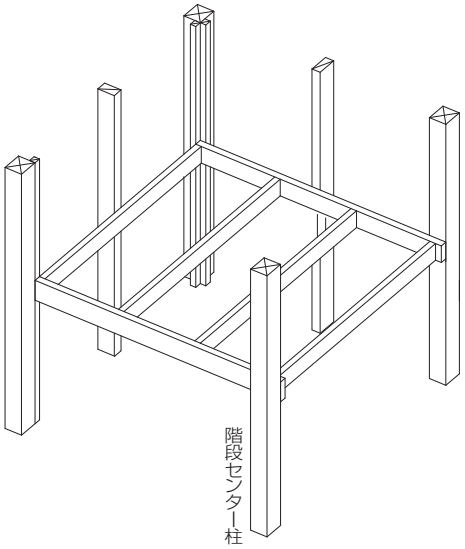
●180度5段廻り用側板

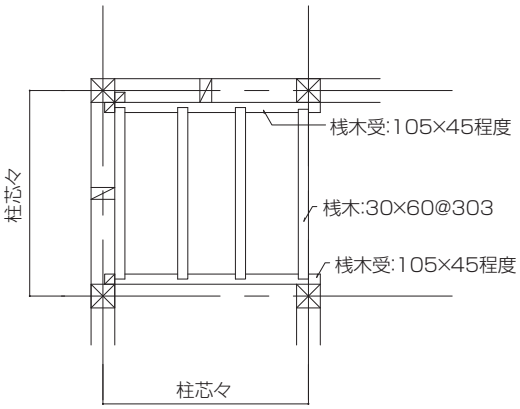




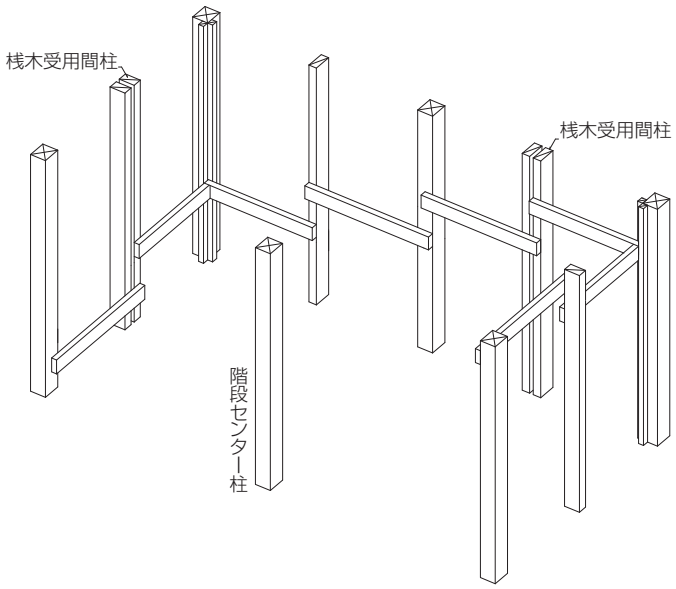
※図は蹴込芯納めで表示しております。

●踊り場踏板受け用桟木施工参考図

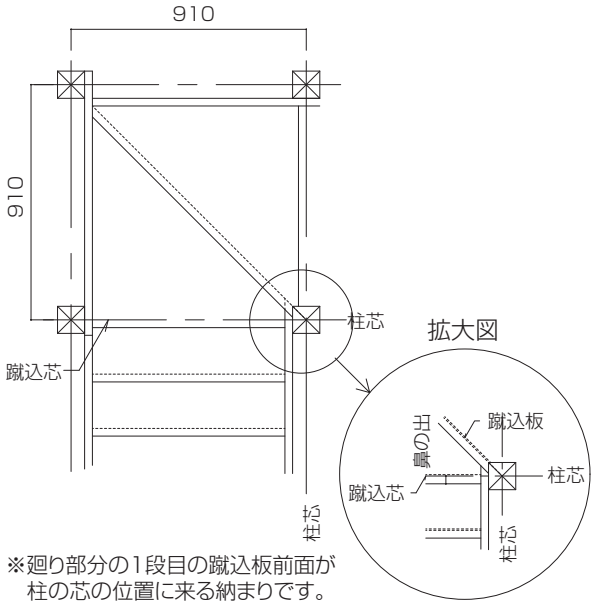




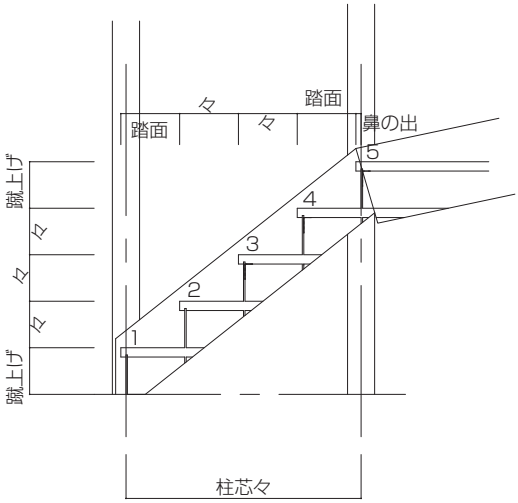
●6段廻り踏板受け用桟木施工参考図（巾木納めの場合）



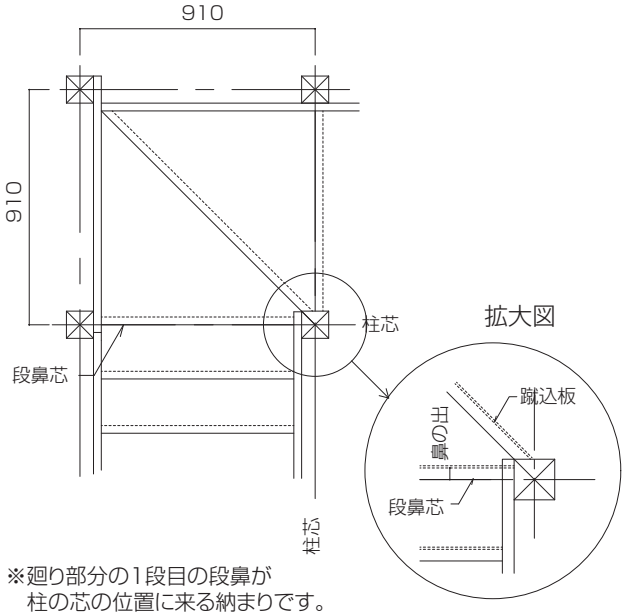
蹴込芯加工の納まり図



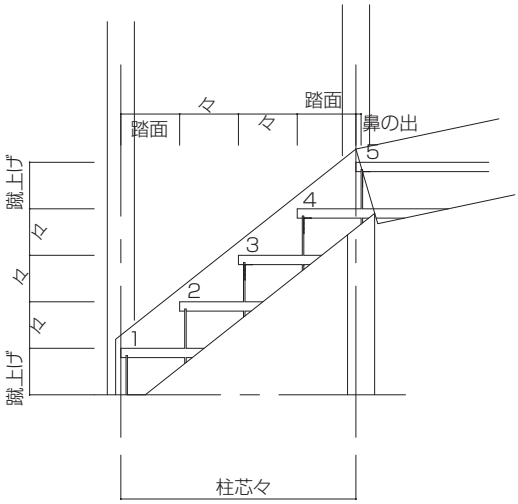
※廻り部分の1段目の蹴込板前面が
柱の芯の位置に来る納まりです。



段鼻芯加工の納まり図

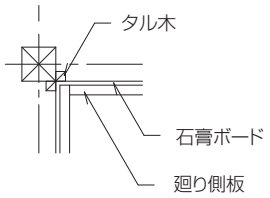


※廻り部分の1段目の段鼻が
柱の芯の位置に来る納まりです。

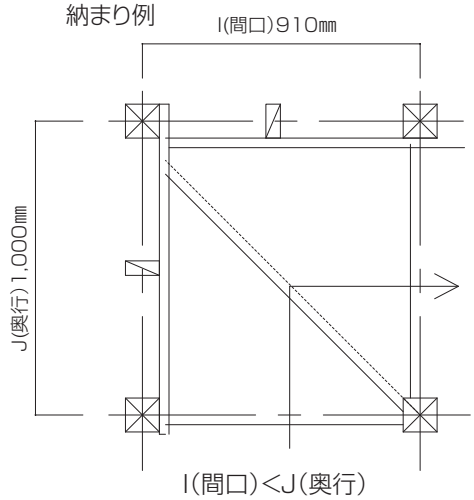


I(間口)･J(奥行き)違い加工(±100mmまで)

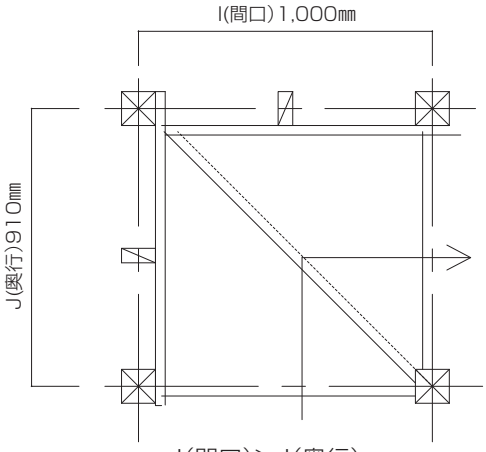
壁下地石膏ボード先張りの場合



納まり例



I(間口)<J(奥行)



I(間口)>J(奥行)

施工手順

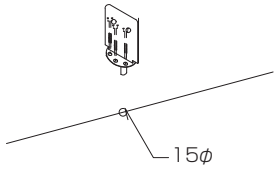
推奨加工:
センター柱の取り付け

注意!

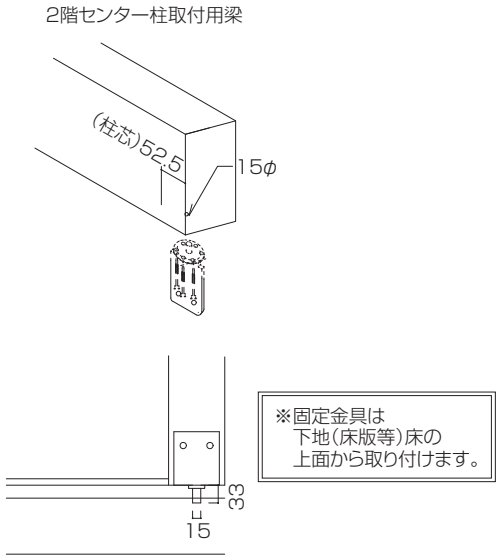
※センター柱固定金具は床板の上から取り付けになります。
根太工法等、土台の上に取り付ける場合は、柱の長さを変更する必要がありますので
事前に担当営業所にお問い合わせください。
※センター柱を受ける側の構造部分にはセンター柱が柱芯となるようにφ15の穴をあけてください。
また、その該当部分には他の加工をしないでください。(強度不足となる恐れがあります。)
※柱勝ち納めの場合は4,000㎜のセンター柱となります。
※このセンター柱は造作用柱扱いとなります。構造用柱としてはご使用いただけませんので、ご注意願います。

梁勝ちの場合

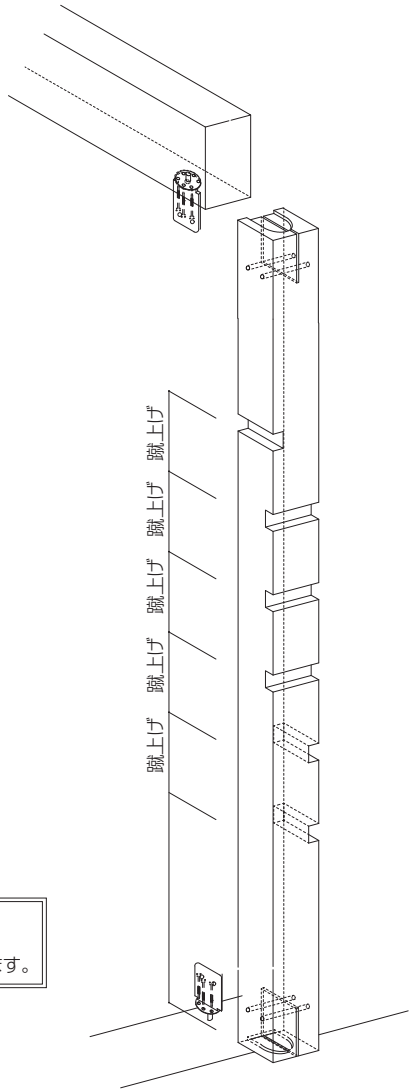
①下地床(床版等)の上面にセンター柱取付金具の穴(15φ)を柱芯にくるようあけ、専用ビスで固定させる。



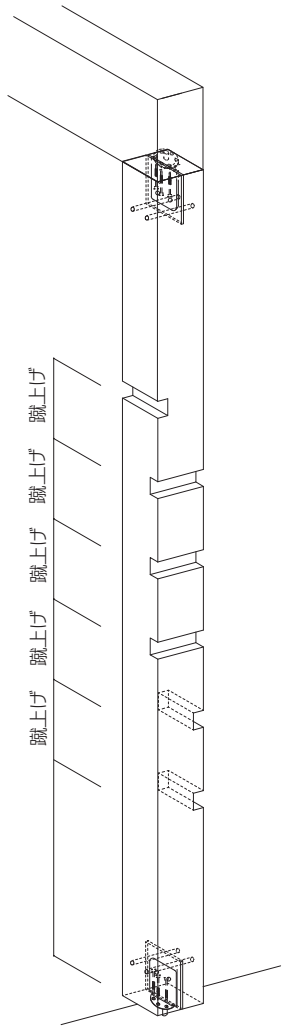
②同様に2階梁にもセンター柱取付用金具用の穴(15φ)を端部から52.5mm(柱芯)のところにあけ、専用ビスで固定させる。



③センター柱をスライドさせて床、梁金物に取付るドリフトピンを打ち込み固定する。



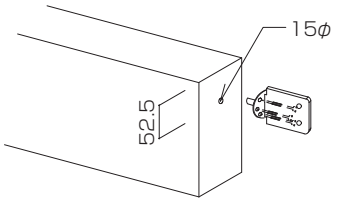
④完成



柱勝ちの場合

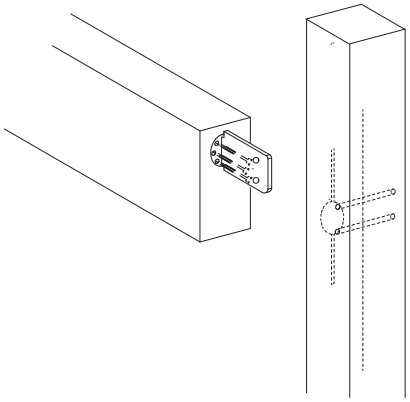
①梁勝ちの場合と同じ。

②2階梁センター柱取付用金具用の穴(15φ)を梁上面より52.5mmのところにあけ、専用ビスで固定させる。

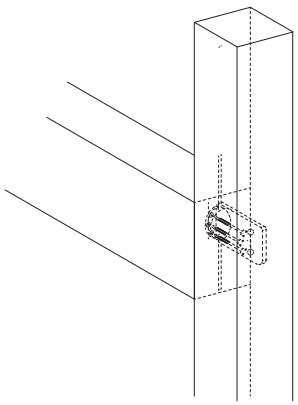


2階センター柱取り付け用梁

③センター柱をスライドさせて床、梁金物に取付るドリフトピンを打ち込み固定する。



④完成



① センター柱の取り付け（センター柱を使用する場合） ※センター柱の金物の取付け手順は別紙をご参照ください。

推奨加工:
センター柱 梁勝ち納めの場合

金物加工

金物加工

センター柱 柱勝ち納めの場合

※石膏ボードを先行して施工する場合、内廻り側壁面への石膏ボードの取り付けは、施工手順③「廻り踏板の取り付け」直後に施工して頂くと、部材との干渉を避けることができます。

② 外廻り直側板＋外廻り側板の取り付け

推奨加工:
側板接続金具加工の場合

接続金具拡大図

※プラスドライバーを回転さえて固定します。

接続金具加工

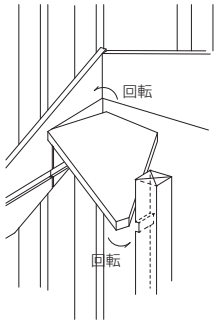
接続金具加工

1段目蹴込み板差し込み加工の場合

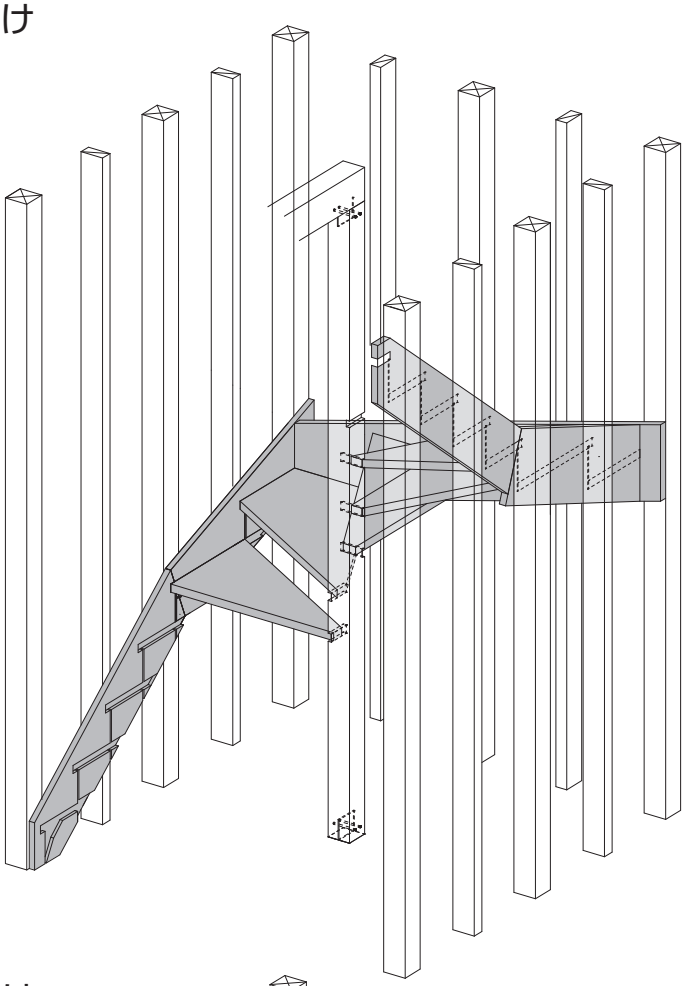
廻り側板コーナー拡大図

ボード先張り時の接続加工

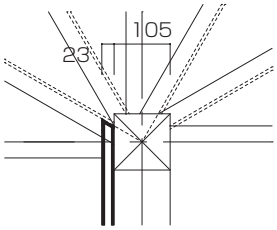
③ 廻り踏板の取付け



廻り踏板は、図のように
外周部先端を位置を合わせ、
回転させるようにはめていきます。



オプション加工:
廻り踏板下内側板端部カット

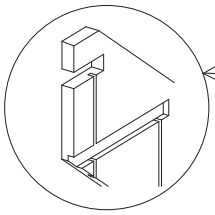


側板端部が廻り2段目の
蹴込面に合わせて斜めに
カットされます。
(形状によっては斜め加工に
ならない場合もございます。)

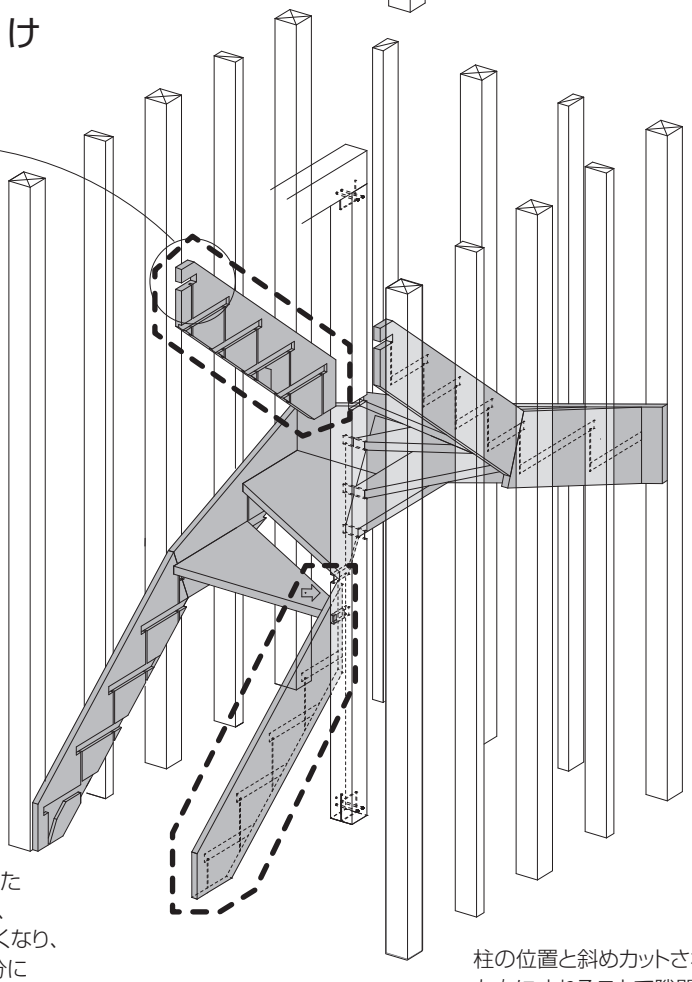
Point

※側板と蹴込板を隙間が
あかないように調整のうえ
固定してください。

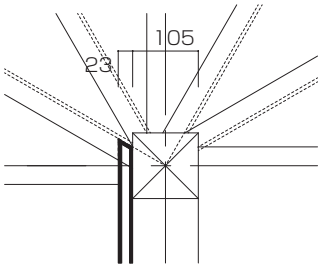
④ 内側板の取り付け



推奨加工:
くりぬき加工の場合

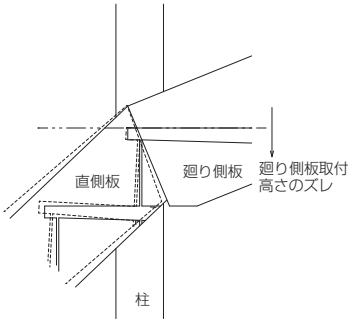


推奨加工:
廻り踏板下内側板端部カット



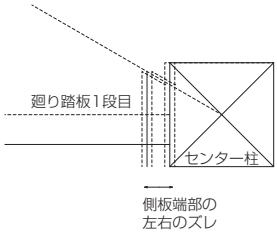
側板端部が廻り2段目の蹴込面
に合わせて斜めにカットされます。
(形状によっては斜め加工に
ならない場合もございます。)

Point



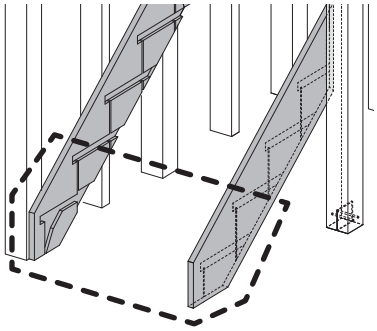
廻り側板がプレカット加工で指定された
取付高さからずれてしまうことにより、
直側板との接続部で隙間が生じやすくなり、
側板同士の接点がずれたり、段鼻部分に
隙間が発生しやすくなりますので
ご注意お願いします。

Point



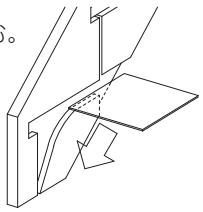
柱の位置と斜めカットされた側板端部の取付位置が
左右にずれることで隙間が発生しやすくなります。
状況にあわせて再加工してくださいますようお願いします。

⑤ 1段目蹴込板、踏板の取り付け

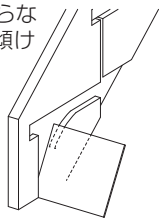


推奨加工:
1段目蹴込板差し込み加工の場合

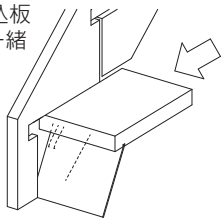
①踏板加工部から
蹴込板を差し込む。



②上部が踏板にかからな
いように蹴込板を傾け
て仮置する。

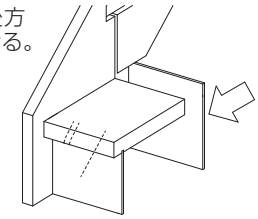


③踏板の蹴込溝に蹴込板
を合わせて踏板と一緒
に押し込む。

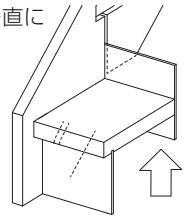


2段目蹴込板差し込み取付手順

④2段目の蹴込板を後方
より水平に移動させる。

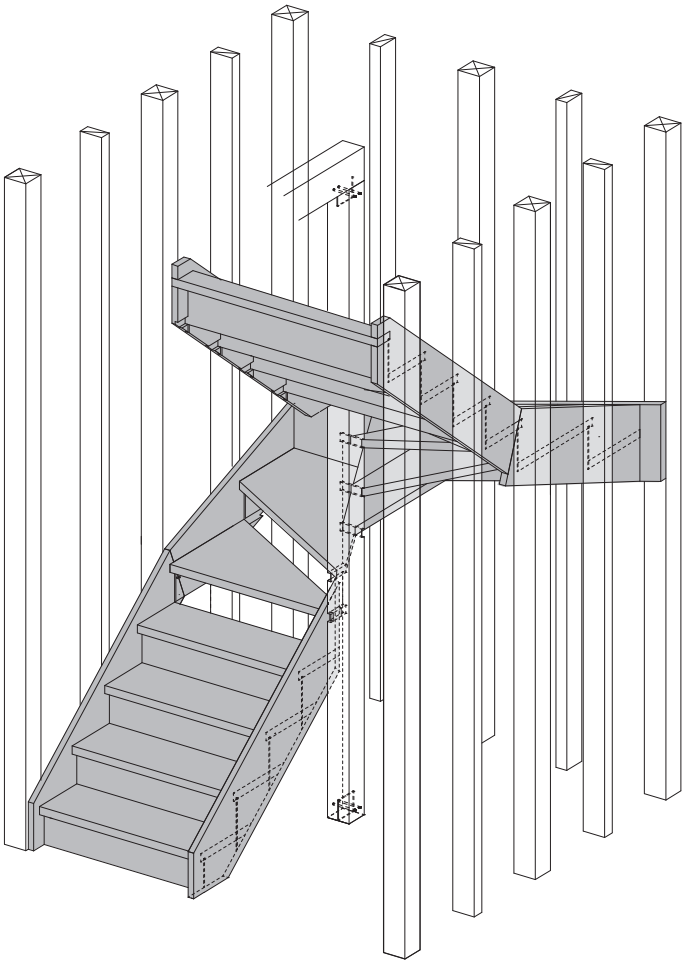


⑤踏板にあたったら垂直に
押し上げる。



⑥ 2段目以降の直踏板・蹴込板の取り付け

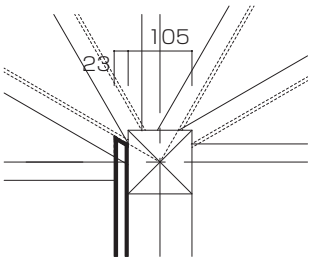
※踏板の手順は、先に廻り踏板から
取り付けることも可能です。



⑦ 廻り蹴込板の取付け

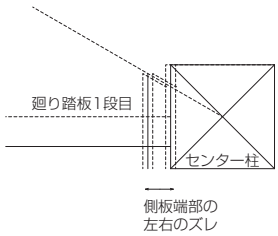
廻り踏板は、図のように外周部先端を位置を合わせ、回転させるようにはめていきます。

推奨加工:
廻り踏板下内側板端部カット



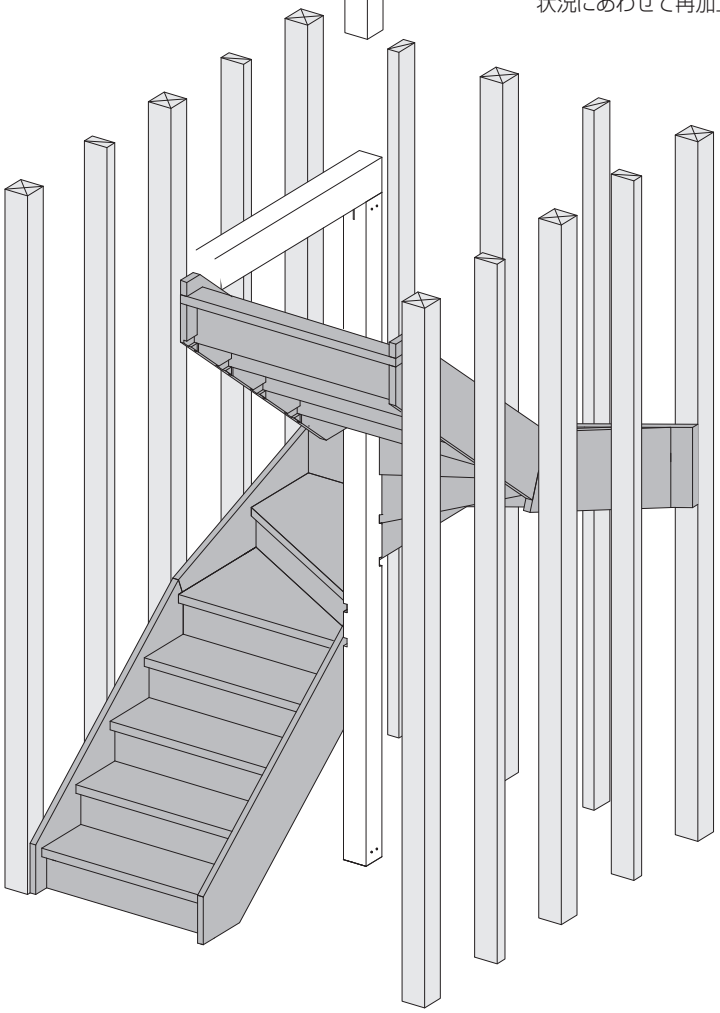
側板端部が廻り2段目の蹴込面に合わせて斜めにカットされます。
（形状によっては斜め加工にならない場合もございます。）

Point



柱の位置と斜めカットされた側板端部の取付位置が左右にずれることで隙間が発生しやすくなります。
状況にあわせて再加工してくださいますようお願いします。

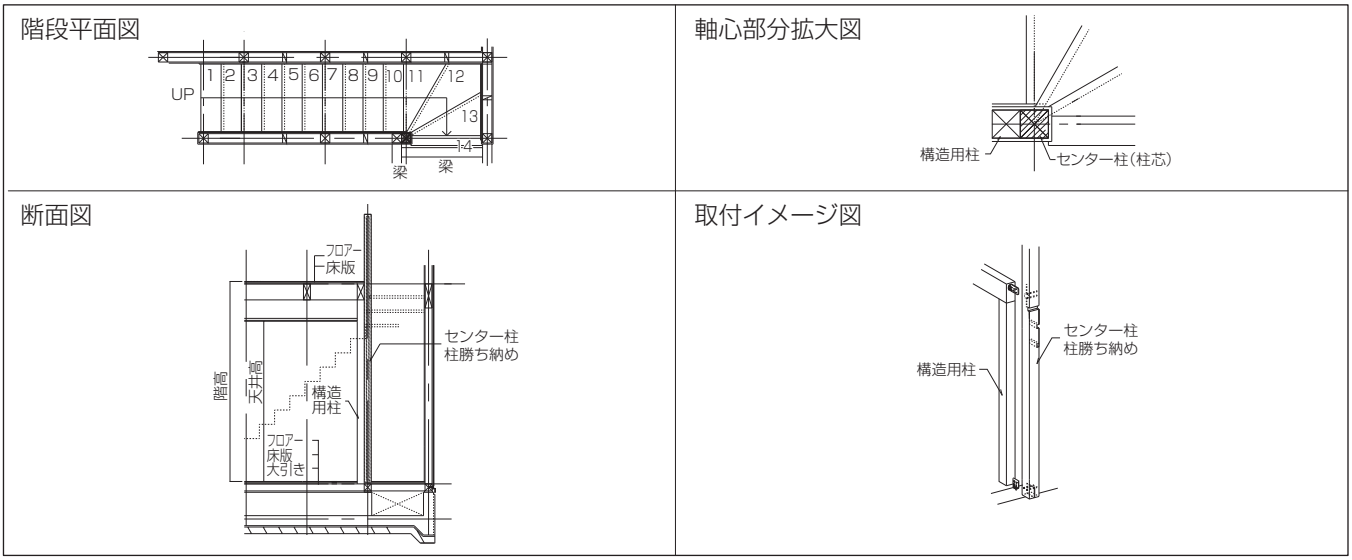
⑧ 完成図



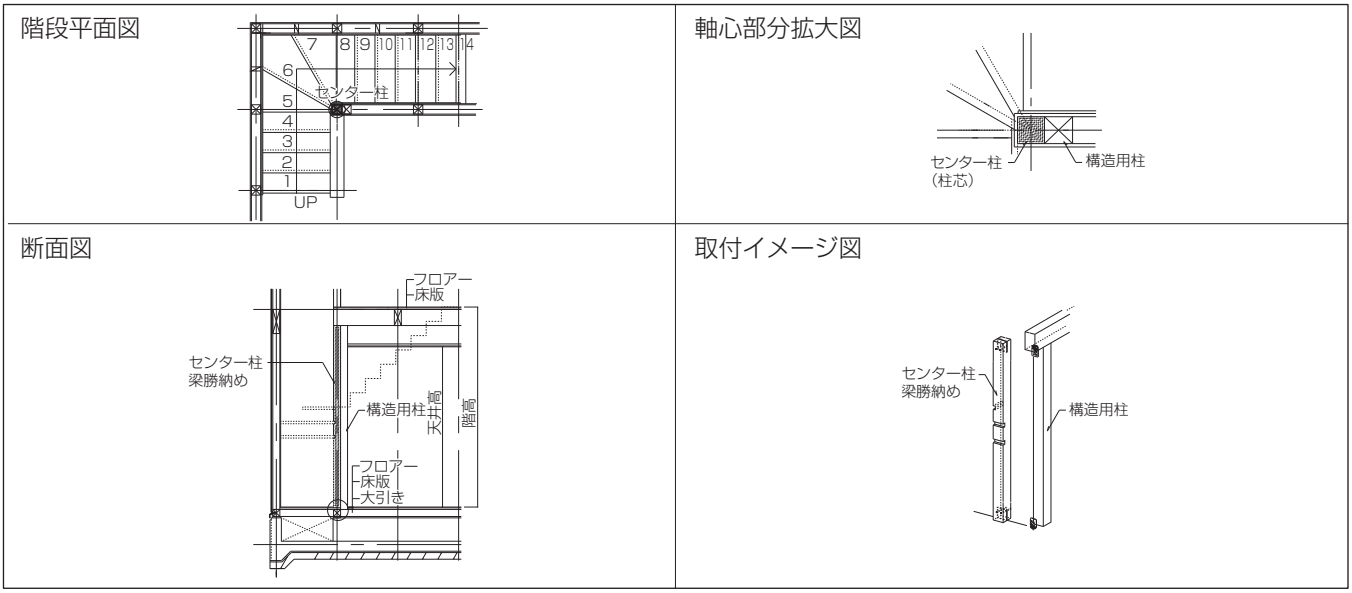
納まり参考例 ※センター柱を取付けようとする場所に構造上、抜けない柱がある場合の納まり参考例

A図、B図の階段形状のような間取りの関係で構造上、抜けない柱がある場合は、その対象の構造用柱をずらし、
センター柱が柱芯にくるよう設計、施工をおこなってくださいますようお願いいたします。

＜A図＞

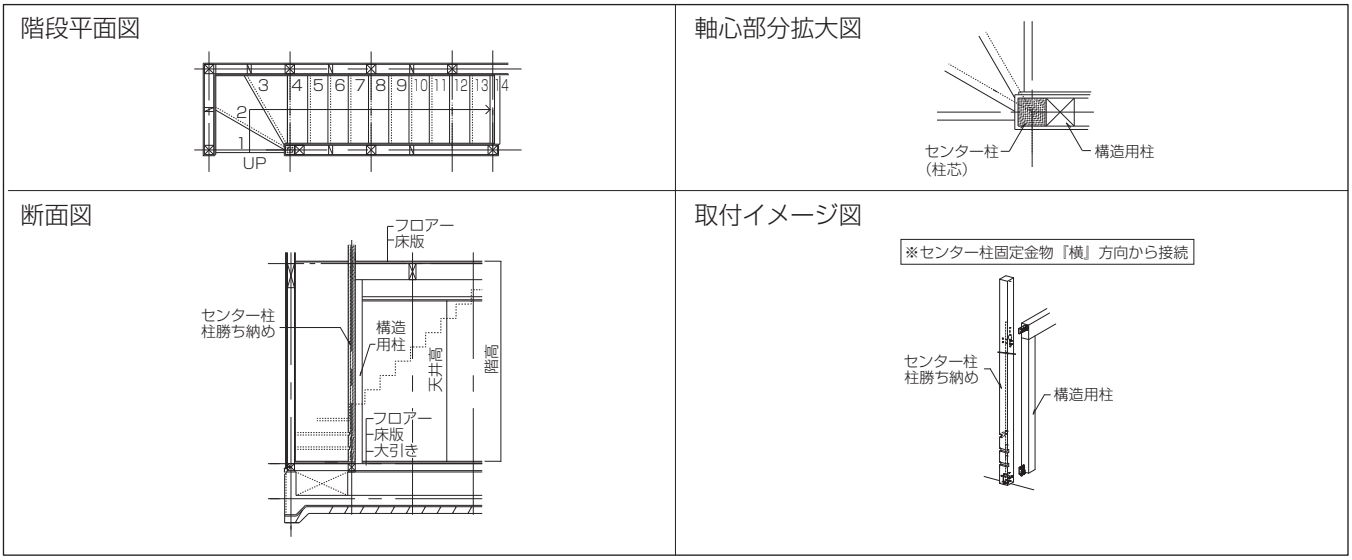


＜B図＞



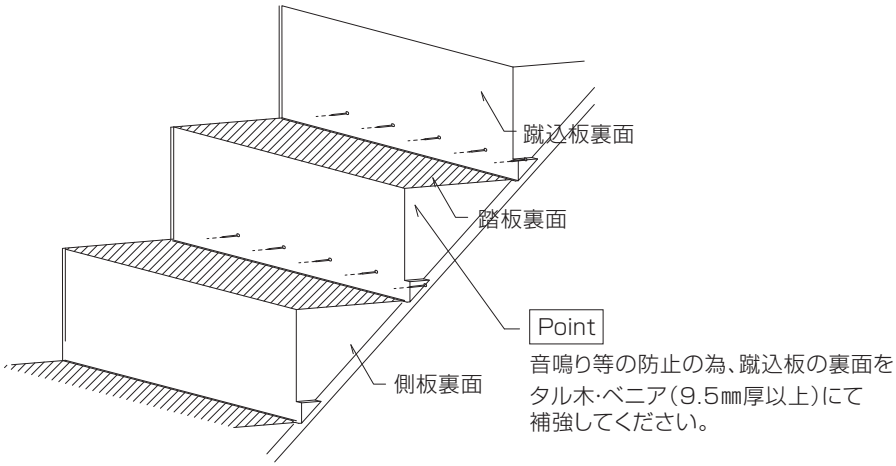
C図のようなセンター柱と梁を側面方向と接続させる階段形状で柱勝ち納めにする場合は、
センター柱固定金具の加工面を『横』方向に指定くださいますようお願いいたします。

＜C図＞



■蹴込み板の固定、補強について

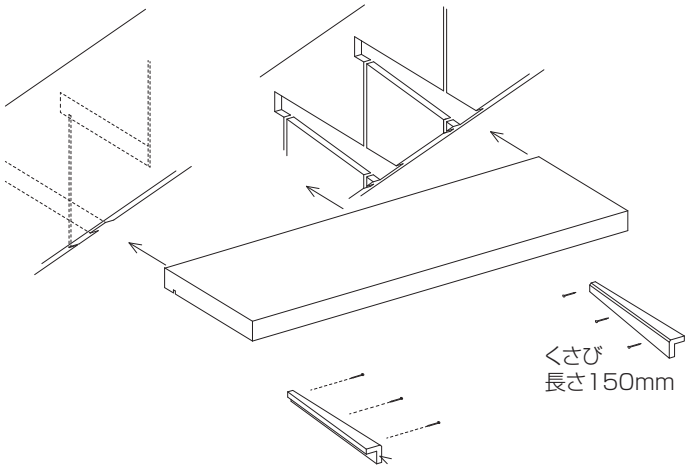
階段の裏面よりビス等とウレタン系接着剤（別売）を
必ず併用し固定してください。
（ビスのピッチは100㎜以下としてください。）



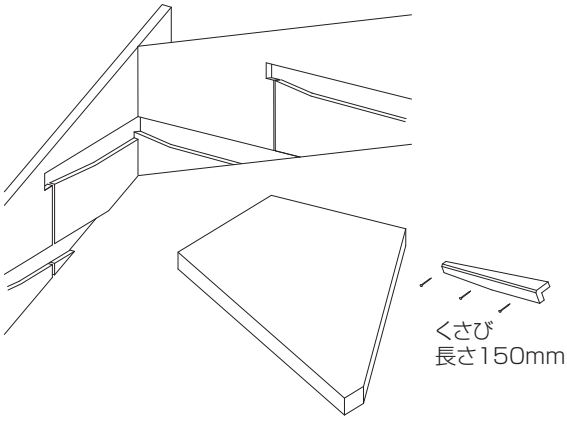
■踏板の固定、くさびの取付けについて

階段の裏側により踏板･蹴込板を取り付けます。
滑りこませるように押し込みながら固定していき『らくらく階段くさび
（品番:ZY2011-7）』を打ち込んで固定してください。

直踏板



廻り踏板

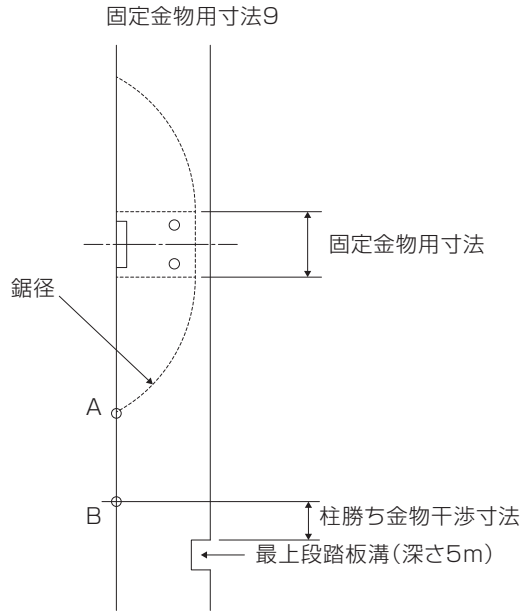


※廻り踏板部は、前方部はくさびで、後方部は桟木、
等（現場調達品）にて固定してください。

■センター柱の踏板切り欠きと固定金具が近い（干渉あり）場合の加工について

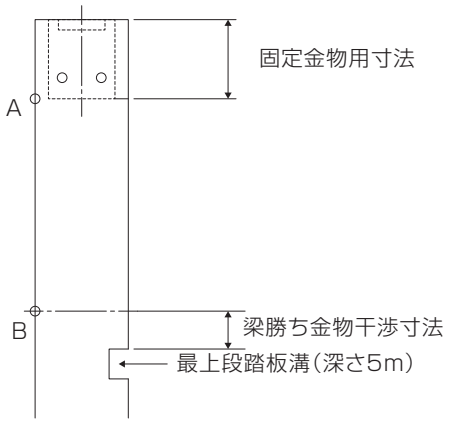
上部に廻り部分がくる階段、等で、図のような踏板切り欠き部分とセンター柱固定金物の
加工位置が近い（干渉あり）場合は、目印加工（踏板切り欠き深さは5㎜）となります。
再度現場での加工をお願いします。

柱勝ち



A>Bの時　干渉なし　通常加工
A≦Bの時　干渉あり　切り欠き溝深さ5㎜

梁勝ち

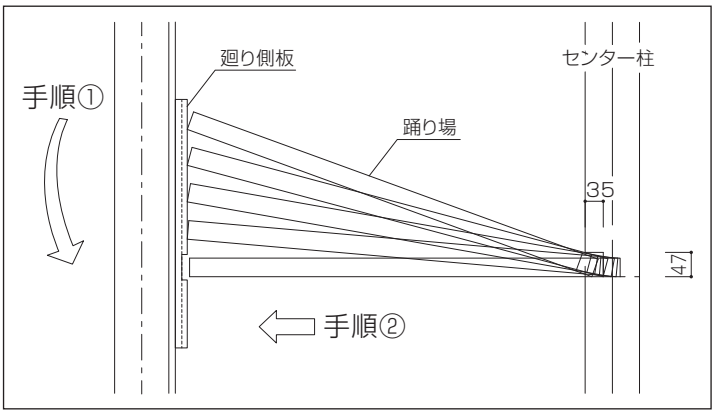


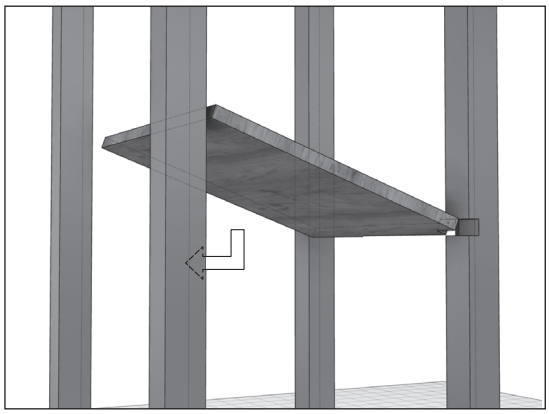
A>Bの時　干渉なし　通常加工
A≦Bの時　干渉あり　切り欠き溝深さ5㎜

※梁勝ち加工で、梁の大きさが蹴上げ以上ある場合は、
踏板切り欠き加工がされない場合があります。

■センター柱への踊り場の取り付け方法について

踊り場は他の廻り踏板の取り付け方法とは異なり、
外周部側を上部よりセンター柱側の切り欠き部分へ一旦逃がしてから（手順①）、
廻り側板の溝にはめ込む（手順②）ように取り付けします。





施工終了後

■養　生

施工後は木屑や砂･ゴミをきれいに取り除いて、ダンボール･ベニヤまたは養生カバー等で隙間なく養生してください。市販のガムテープ等は粘着が強く、化粧単板および塗装のハガレの原因になりますので、別売の養生テープ（品番:ZY0211）をご使用ください。鼻の出裏面には養生テープを使用しないでください。

■お手入れのしかた

階段が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を堅く搾ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン･アルコール･シンナーなどの溶剤を使用すると変色･変質しますので、絶対に使用しないでください。

■使用説明書の手渡し

同梱の「使用説明書」を使用される方にお渡しください。使用される方が不在の場合は、施主様に依頼するか製品に貼り付ける等により必ず使用される方に届けられるようご配慮願います。